



エコで涼しい夏を！

ゴーヤのエコカーテン

田原市では、夏の温暖化防止策として、公共施設などの緑のカーテン事業を推進しています。今回は、中部保育園と市民の方からご投稿いただいたお宅の取り組みをご紹介します。

中部保育園

中部保育園では、身近な所で緑化に取り組み活動「あいち県民グリーン運動」に登録し、ゴーヤやアサガオの栽培を行っています。5月19日(火)に、園児たちによって植えられたゴーヤの苗は、今では園の二階まで成長し、涼を届けています。



▲自分たちで育てたゴーヤの前でニコリ



●お問い合わせ先
エコエネ推進室
☎23局7401

稲垣勝代さん宅兼店舗(保美町)

5年前から取り組んでいるゴーヤのエコカーテン。「真夏でもエアコンが必要ないときがあるくらい涼しいですよ」と稲垣さんは話してくださいました。



▲約25mものゴーヤのエコカーテンは壮観

広報サポーター
カメラリポート

*肥料・農薬不使用、自然栽培の野菜作り「廻り農園」

一年ほど前に、東京から田原市へ越してきた加藤万晴さんご夫婦。田原に来て初めて農業のことを学び始めたお二人は、三カ月ほど前から本格的に農業を始めました。現在は、若見町で肥料も農薬も使わない「自然栽培」で野菜づくりに取り組んでいます。

肥料を使用しないで栽培した野菜は、一般的な栽培をされた野菜と比べて、見た目は少し小さめではありますが、野菜本来の味がするそうです。太陽や大地、雨などの自然の力と、独自のマルチシートを使用して、地面の温度を保つことによって自然に野菜を育てているのです。年間40〜50種類の野菜を栽培される加藤さんご夫婦は、今後も様々な野菜を栽培していきたいと、意気込みをお話くださいました。



▲収穫された野菜畑の様子



永井和子